

CFwdALL が CFwdALL ソフトキーからのセカンダリ回線に対して機能しない

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、セカンダリ ライン アピアランスに関連してすべてのコールの転送 (CFwdAll) 機能の制限事項について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Unified Communications Manager (Cisco CallManager) に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

問題

CallForwardAll ボタンは、マルチライン アピアランス フォンの CFwdAll ソフトキーからのセカンダリ ライン アピアランスに対して機能しません。セカンダリ ライン アピアランス ボタンを押し、次に CFwdAll ソフトキーを押すと、リオーダー音が生成されます。プライマリ ライン アピアランスが正常に転送できます。

解決策

Cisco Unified Communications Manager (Cisco CallManager) では、ユーザはプライマリ ラインから CFwdALL 機能の設定のみを行うことができます。このソフトキーは、他の内線では使用できません。

回避策は、CCM 管理ページですべてのセカンダリ ラインを転送することです。次の手順を実行します。

1. [CCMAdmin] > [User Management] > [End User] の順に選択します。[Add New] をクリックして、新規ユーザに必要なすべての設定を入力します。[Save] をクリックします。
2. CCMAdmin で、[User Management] > [End User] の順に選択して、作成したユーザを検索します。そのユーザをクリックして、[End User Configuration] ページを表示します。[Device Association] > [Find/Select] を選択し、このユーザが使用している電話を見つけます。[Save selected/changes] をクリックします。
3. CCMAdmin で、[User Management] > [User Group] の順に選択します。[Standard CCM End Users] を選択し、[Add end users to group] > [Find/Select] を選択して、作成した新規ユーザを選択します。次に [Add selected] をクリックします。
4. 次の手順を実行して、IP フォンのすべてのセカンダリ ラインを転送できるようにします。新しいブラウザ ウィンドウを開き、次の URL にアクセスします。<https://callmanager-server-name/ccmuser> 作成したユーザのユーザ名とパスワードを入力し、[Submit] をクリックします。[Select a device or device profile to configure] ドロップダウン メニューから、適切なデバイスを選択します。使用可能なオプションから [Forward all calls to a different number] を選択します。[Forward all incoming calls on line to] が表示されます。ここでは 2 つのオプションが使用できます。[VoiceMail][This Number]

関連情報

- [IP フォンからすべてのコールの転送をキャンセルできない](#)
- [すべてのコールの転送に関する Cisco CallManager の問題](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)